

第4回スペースガード研究会 & 時間変動の 観測に関するone day meetingの開催

山岡 均¹⁾

¹⁾九州大学

The 4th Spaceguard meeting & one day meeting on observation of variability

Hitoshi YAMAOKA¹⁾

¹⁾Kyushu University

Abstract

The 4th Spaceguard meeting & one day meeting on observation of variability was held on Dec. 17, 2011, at Kyushu University, Fukuoka. 15 talks were presented, and 25 persons attended.

Key Words: meeting

1 研究会の趣旨

スペースガード研究会の開催を引き受けて、自分の主たる関心の対象である突発天体との共通点について考え、「時間変動する現象をどのように捕捉するか」ということをキーワードにすることを思いつきました。地球近傍の天体や人工物体はもちろん、変光星、突発現象、ブレーザーに至るまで、すべて明るさや位置がどのように時間変動するかを把握することが、それらの研究の根底となります。そのタイムスケールは、数秒から数年にわたるものまでさまざま、データの取り扱い方も対象ごとに工夫されています。それぞれの分野での観測的研究の取り組み方を紹介していただき、議論することで、お互いの研究を深めていくことを期待しました。

2 研究会の概要

研究会は、2011年12月17日、10時～17時のスケジュールで開催されました。会場は、九州大学箱崎キャンパスの21世紀プラザ講義室を使用しました。スペースガード研究会は、第1回が東京都日野市、第2回が北海道札幌市、第3回が東京都調布市と開かれてきたので、今回の開催は西日本で初めてとなります。講演数は15件、参加者は25名というこじんまりとした研究会となりました。

講演内容は、突発天体関連が5件、太陽系天体とアーカイブを利用した研究が3件、アウトリーチが3件、スペースデブリが4件と、たいへん多岐にわたるものとな

りました。座長は、午前中が高妻真次郎さん(中京大)、午後が花田俊也さん(九州大)と山岡均(九州大)が務めました。進行はたいへんスムーズで、予定時間ぴったりに研究会を終了することができました。講演者の皆様と座長の皆様に改めて感謝します。懇親会はキャンパス近くにある、鶏料理がメインの居酒屋で開催され、たいへん盛り上がりしました。福岡市中心部で二次会、三次会が続いたとも聞いております。

3 まとめ

多岐にわたる分野の皆様が、それぞれの分野での取り組みを紹介し合うような研究会は、たいへん刺激に富んだものとなりました。これからも、このような会合を開くことができたらと思います。最後になりますが、会場を提供いただいた九州大学、会場の設営・撤収や受付、マイク係にご尽力いただいた学生アルバイトのお二人にも感謝いたします。

参考文献

1) 第4回スペースガード研究会&時間変動の観測に関するone day meeting (プログラムと講演趣旨), *ASTEROID*, 20(4), pp.120-125, 2011.